

J R連合N EWS ~2025春闘~

No. 5

ONE TEAMで もっと賃上げ・生活改善

- 労働条件改善を加速させ、人財の確保・定着につなげよう -

2025年 3月 6日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合九州地協2025春閩勝利総決起集会

JR連合九州地方協議会は2月16日、福岡市内で2025春季生活闘争勝利総決起集会を開催し、昨年を上回る賃上げや春季生活闘争の機会を通じた組織強化・拡大などの実現をめざし、加盟4単組(JR九州労組、JR西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地区本部、JR九州バス労組)がONE TEAMで闘い抜く決意を固めあった。JR連合から住吉一家労働政策局長が出席した。



吉田祥司議長

冒頭、あいさつした吉田祥司議長(JR連合副会長・JR九州労組中央執行委員長)は、「JRグループにおいては人財の確保・育成が大きな課題となっており、安全確保や就労環境の改善を通じて産業の劣化を食い止めるためにも、各単組が一丸となって取り組もう」と呼びかけた。

基調講演では、JR連合の住吉労働政策局長が「2025春季生活闘争を取り巻く情勢」について説明し、「2024春闘では大きな成果を得たものの、物価上昇や世間水準には劣後して

おり、人財の確保・定着を図るためにも昨年以上の成果が必要」との考えを示した。 その後、JR西労組福岡地本の尾潟八起氏、貨物鉄産労九州地区本部の久米章人 氏、JR九州バス労組の南里誠治氏、JR九州労組の久森圭太氏から、2025春 闘へ向けて、前年を上回る賃上げの実現、柔軟な就労環境の整備、春闘の取り組み

を通じた組織強化・拡大な ど、各単組の決意を表明し た。

最後に「JR産業に働くすべての仲間の幸せを実現するため組合員・家族が一丸となって運動を展開する」とした集会アピールを採択し、吉田議長の団結ガンバロウで閉会した。

